

『外国語と日本語との対照言語学的研究』

第39回 研究会

2023年12月16日（土） 14:00～17:50

ZOOMにて《一般公開、要事前申込》

* * * * * PROGRAM * * * * *

14:00～15:00

発表：山田洋平氏（東京外国語大学、言語学）

モンゴル語の「形容詞」をどのように定義するか

15:10～16:10

発表：土肥篤氏（東京外国語大学、言語学）

主文現象としての談話標識に関する

日本語、イタリア語、ドロミテ・ラディン語の対照

16:20～17:50

講演：竹内史郎氏（成城大学、国語学）

文献日本語史で繰り返される統語的な変化を生み出すメカニズム

—モダリティ接語、格助詞ガ、副助詞、係り結び、ノ準体における—

例えば「名詞+らしい/ほい」の語内部の名詞がおさまるスロットにおいて、屈折接辞を節末とする節が置き換わることでモダリティ接語が形成される。また逆に、名詞句内の連体修飾節がおさまるスロットにおいて、名詞が、連体修飾節（すなわち、屈折接辞を節末とする節）に置き換わることにより副助詞が形成される。こうした名詞と屈折接辞を節末とする節との互換性によって生み出される文法変化を捉え、その意義について考えていく。

* * * * *

◆参加申し込み方法◆

以下のリンク先またはQRコードより事前申し込みをお願いいたします。

<https://forms.gle/oSFNXwfwq1hgE6wB9> 締め切り：12月15日（金）13時まで

事前申し込みをされた方に、講演会の前日（12月15日）、ZOOMリンクとご案内を送信する予定です。



【ZOOM開催にあたってのお願い】

- ・ミーティングルームは研究会開始10分前に開室いたします。
- ・入室時の名前表示は「フルネーム+ご所属」をお願いいたします。

対照日本語部門：谷口龍子 秋廣尚恵 大谷直輝 川村大 降幡正志 三宅登之 山田洋平 幸松英恵